

関東内陸地域における広域的観光活性化

群馬県の現状

本県には、「尾瀬国立公園」に代表される豊かな自然や美しい景観、「富岡製糸場」などの多くの歴史・文化遺産、「草津、伊香保、四万、水上」などの多くの温泉地等の豊かな観光資源があります。

また、近年の新幹線や高速道路の整備等により、十字に走る高速交通網が形成され、観光施設へのアクセス性がより一層高まっています。

平成20年度に策定された「はばたけ群馬観光プラン」では、平成24年度に観光客数を7,000万人程度増やす目標を掲げ、「観光立県ぐんま」を推進しています。

課題

本県では、栃木県、長野県とともに「日本ロマンチック街道」等により、従来から協力して両県にまたがる地域の観光振興に力を注いできました。これらをさらに強化させ、周遊観光に係る施策を実施することにより、広域的な観光振興を推進し、地域の活性化を実現させる必要があります。

目的

北関東道や上信道など、本地域を広域にわたって東西に結ぶ高規格道路等の整備を契機に、海外との競争にも勝ち抜く魅力ある各県の観光拠点へのアクセス性を高める基盤を整備し、関東内陸地域の広域的な観光活性化を図ります。

事業の指標

指標1 群馬県全域・栃木県計画地区内（足利市・佐野市・日光市）・長野県計画地区内（北信濃・東信州地域）の観光客の総計

現況：12,895万人(H20)⇒目標：14,415万人(H24末)

指標2 群馬県内の外国人観光客数

現況：7.3万人(H18)⇒目標：11万人(H24末)

指標3 観光拠点と高速道路IC及びJR主要駅間の移動所要時間

現況：165.5分(H21)⇒目標：146.3分(H24末)

成果と達成度報告

指標1・指標2 計画地区内の観光客の総計については、**12,466万人(H20比3.3%減)**となりました。また、群馬県内の外国人観光客数については、**7.9万人(H18比8.2%増)**となりました。

これは、平成23年3月に発生した東日本大震災による風評被害・イベント自粛などの外的要因によるものと考えられます。

指標3 観光拠点と高速道路IC及びJR主要駅間の移動所要時間は、用地取得の難航等により事業の完成時期が遅れたことから、**156.3分(H21比5.6%短縮)**となりました。

なお、本計画終了後も「栃木群馬長野広域的観光活性化計画」を実施しており、引き続き、本地域における観光客増加のための事業を推進していきます。

関東内陸地域における広域的観光活性化

整備効果事例

事例① 国道406号（倉淵温泉工区） 道路拡幅

■位置図



箇所名：
高崎市倉淵町権田

■整備効果

整備前



幅員狭小のため、円滑に通行することができませんでした。

整備後



適切な幅員が確保され、観光地にも行きやすくなりました。

事例② 国道144号（御関所工区） バイパス

■位置図



箇所名：
吾妻郡嬭恋村大字大笹

■整備効果

整備前



大型車が対向車線にはみ出てしまい、危険な状況でした。

整備後



幅員が広がり、大型車もスムーズに通過できるようになりました。